村田町 村田町立村田第二小学校(総合的な学習の時間)「ぼく・わたし沼辺たんてい団」

○市町名　村田町

○学校名　村田町立村田第二小学校

○期　日　令和７年１１月２６日（水）

○内　容　３学年　総合的な学習の時間
「ぼく・わたし沼辺たんてい団」
・身の回りの「人」や「地域」「自然」に目を向けながら関わり合うことにより、課題を見付け、自分らしく探究していこうとする能力を育てる。
・地域の素材や学年の特徴を基にした体験活動や課題を探究する活動を通して、学び方や考え方を身に付け、自分の思いを家庭や地域に生かそうとする態度を育てる。

○講　師　笑楽寿来（登録者数２８名）
代表　渡辺　安光　氏
１０名の笑楽寿来の皆様

○児童の声

・はじめて、パカポコ（ひもと缶で作った竹馬みたいなもの、別称「かんこうま」）をしたのがすごく楽しかったです。笑楽寿来の人たちに教えてもらって上手にできるようになりました。笑楽寿来の人たちは、いろいろなことを知っていてすごいなと思いました。

・パカポコに乗るのが、さいしょはこわかったけど、なれて上手に乗ることができました。たこあげで、たこがすごく上にあがりました。先生にたこを持ってもらってやりました。楽しかったです。

・昔の電話を見せてもらいました。昔の電話は、かけるのがたいへんだと思いました。今の電話は、ボタンでかけるのでべんりだなと思いました。

・竹で作ったふえがプープとなってとてもおもしろかったです。昔の人は、自然の物を使って遊んでいてすごいなと思いました。

・昔の学校は、かねがしょうこう口の前にあるのがわかりました。毎回鳴らしに行くのがたいへんだと思いました。他にもますを使ってお米をはかっていて、今とはちがうやり方だったんだと思いました。

・昔の男の子は、風ろをたいていたことが分かりました。毎日風ろをたいてすごいなと思いました。女の子は、りょう理をしていて、昔の子供たちは、家族のためにがんばっていたんだなと思いました。

〇講師から

地域で子供たちを見守るだけでなく、率先して子供たちのためになることは何でもしよう、という思いで活動に取り組んでいます。今回は、古い道具を実際に見せて、触らせて、先人たちの知恵を学んでほしいと思いました。また、子供たちと触れ合うことで、教えているだけでなく、子供たちから元気をもらっていると感じています。

〇教職員の声

笑楽寿来の皆様には、各学年が栽培活動や季節の行事で指導を頂いております。「地域教育の中に学校教育がある」という言葉通りの学校でもあります。

３学年の総合的な学習の時間は、「自分たちの学校」、「自分たちの地域」を知るまでの過程が中心活動となります。笑楽寿来の皆様には、昔の学校のこと、遊んだこと、当時の道具などを説明していただき、実際に子供たちが体験できるようにいろいろな準備をしてくださいました。子供たちは、それらを体験することで、先人たちの苦労や知恵を学んだり、思いをはせたりすることができたと思います。また、地域の方と触れ合うことで、郷土愛などの醸成にもつながるかと思います。

（担当　教諭　小林研二）

〇大河原教育事務所より

地域の皆様からの温かい愛情に支えられながら、子供たちが多くの学びや気付きを得ている様子を見ることができました。地域との交流で得た知識や体験を、今後の学校生活や将来に生かしてほしいと願っています。